

インドネシア

南スマトラ道路修復事業



本事業の対象区間（ルブクリンゴ～ラハト間）

[借款概要]

承諾額/実行額	5,458百万円 / 5,410百万円
借款契約調印	1987年1月
借款契約条件	金利3.5%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1992年1月

[事業概要]

南スマトラ地域の幹線道路のうち特に損傷が著しい区間について拡幅、舗装・路肩の補修、橋梁の架替え等を行うことにより道路交通の改善を図り、地域経済の発展に寄与するもの。

[評価結果]

南スマトラ道路はジャカルタからフェリーでスマトラ島に渡りスマトラ島南部を縦貫する総延長1,200kmの幹線道路である。

1984年に円借款による新設・改良工事が完了したが、その後の交通量の増加により、一部区間（コタブミ～ルブクリンゴ、約470km）の劣化が顕著に進んだため、改修工事が必要となった。本事業が1992年に完成した後も交通量は年々伸びており、95年には、区間により計画時の予測の2～5倍程度まで増加し、そのうち重量車両の増加も同国全体の平均を上回る。また、同区間の走行速度は道路の劣化により20～40km / 時に低下していたが、本事業の後は60～80km / 時に改善した。これにより対象地域の道路輸送は再活性化され、ジャワ島との物流の増大、沿線での新規工場の建設等の効果をもたらしたとされている。

なお、道路の保守作業は頻繁に行われ、技術水準にも問題はないが、過積載車両による損傷等の問題が引き続き生じているため、今後とも道路予算を確保し、適正な維持管理を図ることが課題となっている。